

同時通訳システムを採用した会議にしたいなどの抱負がアメリカ側より述べられた。

終りに、今回の国際海藻学会を成功裡に運営された地元連合王国の組織委員会の努力に敬意を表したい。なお、筆者のこの会議への参加は、文部省の国際研究集会参加費によった。記してお礼申上げる。

フランス藻類学会

周知の通りフランスにおける藻類学研究的歴史は長く、著名な研究者も多い。しかし藻類学会の創立は我が国よりも遅かった。1952年に日本、イギリスの藻類学会が設立され、また、1954年パリで行なわれた第8回国際植物学会議に藻類学の分科会がはじめて設けられたことなどが動機となって、BOURRELLY, CHADEFAUD, DAVY DE VIRVILLE, DEFLANDRE, FELDMANN が中心となって呼びかけを行ない、1955年2月にパリで設立総会が開催されてフランス藻類学会 Société phycologique de France が発足した。現在の会員数は外国人も含めて約150名である。活動としては年2回の集会(1回はパリで、もう1回はその他の場所のことが多い)、採集会(最近はイギリス藻類学会との共催で行なわれている)などの行事、雑誌の発行がある。機関誌 Bulletin de la Société phycologique de France は1955年に第1号が発行され、だいたい毎年1号ずつで1974年までに19号となっている。はじめは連絡誌的性格のもので、年2回の会合の記録、その時の講演の要旨、その他のニュースを内容としていたが、数年前から表紙の体裁も改まり、集会のとき発表された原著論文をのせる様になっている。

フランス藻類学会に関する連絡先は Secrétaire général Mme P. GAYRAL, Laboratoire de Biologie cellulaire et Botanique, Université de Caen, 39 rue Desmoueux, Caen 14, France である。なお会費は100 F。(吉田忠生)